

真田図書館サポーターだより 第15号

過去最高の人出に沸いた図書館まつり

昨年12月2日(土)に真田図書館恒例の「図書館まつり」を開催しました。お餅の配布数やリサイクル市の来場者などは過去最高となり、地域の皆さまの図書館愛を感じる1日となりました。



<子ども達と一緒にもちつき>
もちを7臼つき、あんどきなこのもち420皿ほどが来館者の皆さんに振る舞われました。

図書館まつりでの拡大版おはなし広場のまよう



<子ども達に大人気、ヒロ・タッキーさんの腹話術ショー>



<雨宮ちよ子さんのエプロンシアター>

昨年 10 月に図書館サポーターに加わって頂いた、新人サポーターの荒木浩二郎さんに図書館まつりのリサイクル市の感想を寄せて頂きましたのでご紹介します。

図書館まつりの「リサイクル市に参加して」

図書館サポーター 荒木浩二郎

横須賀から真田に2年前に引っ越して来てから新しく立派な図書館に大喜びで毎週図書館に行っています。真田の図書館は本の分野も広範囲で利用者のマナーもよく本もきれいで感心します。好きな鉄道や農業の雑誌、生命の進化や社会の仕組みの本を読み漁り目が開かれる思いの連続です。時には上田や丸子の図書館にも行くと違う本に巡り合えます。この図書館に私も何かお役に立てればと昨年からは図書館ボランティアに加えてもらいました。

そして今回の図書館まつりではリサイクル市で本並べやしおりコーナーを担当しました。リサイクル市で愛着があり捨てるに捨てられない本も新しい読者の手に渡り有効活用されれば本も喜ぶのではないのでしょうか。

このイベントを通してこの素晴らしい図書館の利用者がさらに増えることを願いました。



< にぎあうリサイクル市 >

来場者は 286 人となり、リサイクル本の受入 1,861 冊のうち、1,255 冊が持ち帰られました。

前日の準備で、リサイクル本を並べる
荒木浩二郎さん



真田図書館での異業種体験を通して

<本の修理をする舟越先生>

東御市立東部中学校 舟越 暁



9月27・28日の2日間、真田図書館で異業種体験をさせていただきました。2日間で強く感じたことは、「真田図書館は“地域”とともにある」ということです。地域の方の要望により図書館がつくられたという経緯をお聞きし、また、多くの熱心なサポーターの方によるボランティア活動を拝見し、地域における図書館の重要性を知ることができました。また、真田中学校の近くにあるということで、生徒の大切な居場所にもなっていると思いました。

図書館のスタッフの皆さんは、木嶋次長様、小暮司書様をはじめ、とても温かな方ばかりで何も分からない私に対して、優しく図書館業務を教えてくださいました。

「図書館はただの本貸しではない」一つひとつの本を大切にしながら、利用者のことを考え、図書館業務に誇りを持って働かれている姿に同じ社会人として尊敬するところばかりです。この2日間を通して学ばせて頂いたことを、勤務先に戻っても活かしていきたいと思います。本当に2日間ありがとうございました。

第2回真田図書館ボランティア講座を開催しました

毎年2回開催しているボランティア講座の2回目を2月1日(木)に開催しました。

今回は本の製本の仕組みを知るため、受講者の方各々がミニノートを制作しました。青木村図書館さんからも職員の方、2名が参加してくださり、感想を寄せて頂きました

青木村図書館 原田里美

青木村の図書館で仕事をさせていただくようになり、しばらく半年という頃にとっても有意義な勉強の機会を与えていただきました。製本の実地体験は絵本などの構造がよくわかりました。また本の部位に適した接着材あることも初めて知りました。利用者の多い本ほどいたみが激しく、素人考えで補修していたところでしたが、今回得た知識と経験はぜひまた活かしたいと思います。

できあがったミニノートは小さくとも立派なものなので大切にしたいと思います。



<制作した
ミニノート（見本）>

第3回真田塾「ぜったい楽しい地酒教室」に参加して



上原自治会 倉島幸雄

真田図書館で「真田塾」が開催されているということは有線等で承知していましたが、今回地酒をテーマとした講演会があるということで興味を持ち、初めて受講しました。当日は同時刻にサントミュージゼで「舞の海」の講演があったにもかかわらず、40名程の参加者がありお酒ファンの多さに驚きました。今回は試飲がありませんでしたが、それを期待した方もいたようです。

講師はきき酒の世界では著名な宮島国彦氏で長野県内外にお

いて精力的に活躍されているとのことです。講演内容は 入門編 ステップアップ編 番外編 で真田十勇士にちなんで10問の質問と回答で行われました。各部門ともお酒に係る歴史や伝統文化、酒の製造方法や飲み方等幅広くまた詳しく解説され、あっという間に2時間の講座が終了しました。まとめとして講師の座右の銘である「地酒・自酒・滋酒・次酒」が次世代に継がれる酒の文化として紹介されました。今回の受講によりお酒の文化の奥深さに触れる楽しさが習得でき、大変満足する内容でした。今後昔から引き継がれてきた酒道を理解し、お酒を愛でることにより飲む楽しみを身につけたいものです。宮島氏におかれましては益々ご活躍されることを期待しています。

木管三重奏図書館コンサートの感想

サポーターの会 安田直子

昨年 11 月に開催された木管三重奏図書館コンサートは、心に残る催しでした。奏者の息づかいまで聞こえてきそうな距離感、表情。奏者と客席が一体となり音楽を楽しみました。

生で聴く木管の音色は、優しく柔らかでじんわりと心に沁み渡っていくように感じます。

地元出身の奏者の方でしたので、親近感も湧き和やかな時間を過ごしました。このように素晴らしい企画がこれからも続きますよう、図書館を利用してくださる地域の方々と感動を共有できる催しとなっていけるよう、サポーターの1人として協力していきたいと思います。

サポーターの会 安田愛結

私は木管のプロの方の演奏を初めて生で聴きました。優しい音色で心地よく、また、聴いてみたいと思う程心に残るコンサートでした。

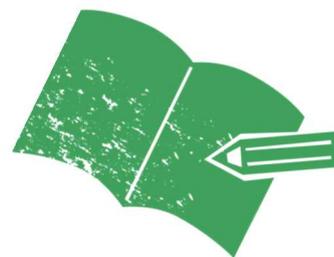
サポーターの会 安田美結

私は中学で吹奏楽部なのでコンサートが楽しみでした。演奏を聴いて、技術や迫力、音色の美しさに驚きました。こんなに近くで演奏が聴けて嬉しかったです。



< 右から三井崇裕さん、春山竜也さん、武田理恵子さん >

「図書館にできること」 part10



開館して7年 今思うこと

図書館 司書 小暮 由夏

2010年11月19日(平成22年)この上田市真田町に待望の公共図書館がオープンしました。それまでの真田中央公民館 図書室も隠れ家のように素敵でしたが、地域のみなさんの「知りたい 学びたい 集いたい」気持ちを形にした「みんなの図書館」が地域の方々の思いを結んで開館したのです。「市民協働」という看板を掲げて産声をあげたのでした。

もっと本をたくさん置いてほしい。小さな子どもも気軽に来られる場所にしてほしい。もっと地域の歴史を調べられる場所にしてほしい。小中学生が本と親しめるような場所にしてほしい。安心して静かに勉強できる場所が欲しい。赤ちゃん連れでも安心して気兼ねなく居られる場所にしてほしい。などなど、地域のみなさんの声を形にした図書館になったでしょうか。「市民協働」とは、市民と図書館の距離が近いこと。「わたしたちの図書館」という意識がほかの図書館よりも強いと思います。図書館サポーターの会の日々の活動、縁の下の力や支えがあって真田図書館は満7歳になったのだと思います。

2月の末、神奈川県大和市と東京都町田市の図書館を視察に行かせていただきました。そこで見聞きしたことは確かに羨ましい素晴らしい施設でした。ホールや生涯学習センター・保健センターと図書館が同じビルのなかにある素晴らしい空間でした。人の手を介さないセルフ貸出・返却などができる図書館でした。しかし、真田図書館では暖かい人のぬくもりが感じられるサービスがいいなと感じました。「わがまちに図書館がほしい！」と立ち上がった真田の皆さんの思いがいつまでもいつまでも忘れられずに続いていくといいなと願ってやみません。

図書館サポーターのみなさんにはお願いがあります。無理をしないで楽しく活動して下さい。そして、いつも、いつまでもこの真田図書館のファンでいてほしいと思います。図書館はまちを元気にすることができます。図書館はいつでもどなたでも居心地の良い場所を創りだすことができます。図書館は読みたい、知りたい好奇心を後押しできる場所です。「図書館にできること」は身近な所にたくさんあります。難しく考えないでまず、図書館に足を運んでみてください。ぜひ、体感してみてください。お待ちしております。

今後の主な行事予定

- 4月6日(金) 第1回家庭菜園講座
- 4月21日(土) 4月おはなし広場(ちよちゃんのお部屋)
- 4月28日(土) 平成30年度サポーターの会定期総会

…編集後記… 春です、春になりました。花粉が飛んでいます、くしゃみと鼻水・涙にむせぶ春！花粉症の私には、辛く苦しい時候となりました。

さて、今はオリンピックシーズン。図書館でも、会員の方と図書館職員によるオリンピックのディスプレイがされています。平昌では日本選手の素晴らしい活躍で、金メダルを始め多くのメダルや入賞により、感動と元気を、我々に大いに与え続けております。特に地元長野からの出場選手が、大変立派な成績を残していて、菅平で練習していたパラリンピックアルペンスキーの様に、話をした事のある選手が競技に出ると、応援に力が入り、メダルが取れると思わず飛び上がってしまう様な状態です。

この図書館サポーターだよりが届くころには、桜も咲き花壇の花が咲き誇っているものと思われます。皆様、用事がなくとも図書館に来て、一緒にお話をいたしましょう！ 幹事 堀内 健一郎